VB™-3

300W All-Tube Bass Amplifier

Operating Manual

使用上のご注意

このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。

このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

この説明書を読んで下さい。

この説明書をなくさない様に保管して下さい。

注意事項を必ず読んでからお使い下さい。

安全事項にも従って下さい。

水の近くで当製品を使用しないで下さい。

汚れた時は乾いた布で拭いて下さい。

換気口を塞がないで下さい。説明書に従って設置して下さい。

暖房機器や、他のアンプなど、熱を発する機器の近くに置かないで下さい。無理やり、形の違うコンセントに挿さないで下さい。有極プラグは片方のブレードが幅広くなっています。アース付プラグは２つのブレードの他にアース端子も付いています。アースは安全の為のものです。自宅のコンセントに差し込めなかった場合、電力会社に相談して下さい。

電源ケーブルを踏んだり、曲げたりしないで下さい。

落雷の恐れがある時や、長時間使用しない時は電源ケーブルを外して下さい。

修理が必要な時は専門家に依頼して下さい。ケーブルがダメージを受けたり、本体が傷ついたり、濡れたり、落として壊れたりした場合、修理に出して下さい。

換気の為に本体の後ろに必ず10センチ程度のスペースを空けて下さい。換気口の上に新聞、テーブルクロスやカーテン、といった物を置かないで下さい。

ロウソクや火が付くような物を本体の近くに置かないで下さい。

濡れている物も本体の近くに置かないようにして下さい。

注意：安全のため、本体を雨や湿気に晒さないで下さい。

なるべくコンセントの近くに設置して下さい。

注意：必ず適切な接続をしてからアンプを操作して下さい。そうしないとアンプが故障する可能性があります。

直射日光や高い湿度は避けるようにして下さい。

必ずアースを接続して下さい。

解体したり、ヒューズやチューブを交換したりする前に必ず電源ケーブルをコンセントから外して下さい。ヒューズを入れ替える時は、必ず同じタイプのヒューズを使って下さい。

動作中にチューブに直接触れないで下さい。

子供に触らせないで下さい。

故障を避けるため、ケーブルなどを接続する前に電源を切って下さい。

汚れを取るのに溶剤を使用しないで下さい。

必ず本体の裏に表示されている条件を満たすAC電源を使用して下さい。輸出モデルは各国の電圧に合わせてあります。お住まいの規定に従って電源に接続して下さい。

大きな音が出ますので、スピーカーに耳を近づけないで下さい。

PEAVEY アンプはプロスペック用の機材ですので、規定に従って扱って下さい。

上記の取り扱い注意事項と安全管理事項を必ず読んで下さい！

VB™-3

All-Tube Bass Amplifier

この度はPEAVEY製ベースアンプVB-3をお買い上げいただきありがとうございます。

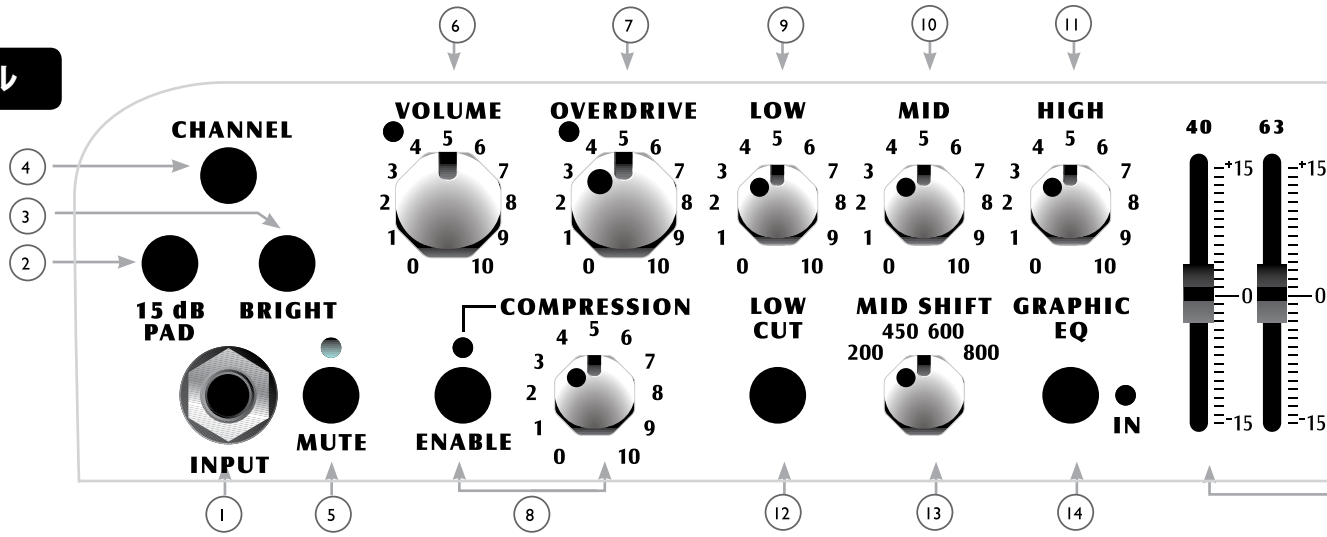
VB- 3は真空管を搭載したベースアンプの概念を覆す、PEAVEY社が自信を持ってお勧めするチューブ・ベースアンプの新しいスタンダードとなりうる商品です。その理由は、無限に近いサウンドメイクを可能にする多彩なEQ/ゲインコントロール。ヴィンテージ3-BANDのBAXENDALL型ミッドカットEQは9-BANDのグラフィックイコライザーと連動。さらにブライトスイッチやローカットスイッチは、パラメトリックEQを操作する際の手間やノイズなく、思い通りのEQカーブを簡単に得ることが出来ます。またオール・チューブ仕様のオプティカル（光学式）コンプレッサーはユニークな"FEED-FORWARD"デザインとなっており、極端なサウンドセッティングを和らげたり、グラフィックイコライザーが最大限力を発揮するように 2 つの EQセクションの間で機能します。またパテント取得のレゾナンス/プレゼンスダンピングコントロールはそれぞれ異なるスピーカーキャビネットやスタイルで演奏する際にトーンの調整が行え、その結果、通常のチューブアンプを使用するときには得られないようなよりタイトなサウンドを得ることができます。更にプリアンプ部はノーマルチャンネルとディストーション（オーバードライブ）チャンネルの2チャンネル仕様となっております。通常ベースアンプは低音域を強調させる為、多くのパワーが必要となり、その分電源トランスが重く大きくなるのですが、PEAVEYの革新的な設計によりわずか16.8kgという重量でその300Wの"ビースト"を咆哮させることができます。

是非このマニュアルをお読みいただき、VB-3が持つ多くの機能をお楽しみ下さい。

機能

・出力300W(RMS）仕様
・インピーダンス : 2/4/8Ω
・総重量 : 16.8kg
・8 x EL34 パワーチューブ
・3 x 12AX7 & 2 x 12AT7 プリアンプチューブ
・ユニバーサル式スイッチングパワーサプライ（全世界対応）
・トップボックス構造
・デュアルチャンネル（VOLUME/OVERDRIVE/LOW/MID/SHIFT/HIGHT/MASTER)
・アクティブヴォリュームとオーヴァードライブコントロール（フットスイッチ操作可能）を示すLEDインジケーター
・ブライトスイッチ
・ローカットスイッチ
・レベルコントロール/ディフィートスイッチ/LED(フットスイッチ操作可能）付の
チューブコンプレッサー
・ディフィートスイッチ/LED(フットスイッチ操作可能）付の9バンドグラフィックイコライザー
・マスターヴォリューム
・レゾナンス/プレゼンスダンピングコントロールはそれぞれ多様なセッティング・スピーカーキャビネットに対応
・15dBパッドスイッチ
・フットスイッチ操作可能なミュートスイッチ（ミュート時は青色LEDが点灯）
・電源スイッチ/スタンバイスイッチ
・バックライト付フロントパネル（照明調節スイッチ付）
・チューナーセンド
・エフェクトループ
・プリアンプイン//パワーアンプアウト・ループ
・XLRダイレクトアウト（グラウンドリフトスイッチ/POST EQスイッチ付）
・XLRダイレクトアウト・レベルコントロール
・2 X パラレル NEUTRIK社製 1/4" / スピコンコンボ・スピーカージャック
・2/4/8Ωインピーダンスセレクタースイッチ

フロントパネル



① INPUTジャック
ご使用の楽器を楽器用ケーブルでこのジャックに接続します。

② 15dB PADスイッチ
アクティブピックアップを搭載したベースまたは高出力のピックアップを搭載したパッシブベースを接続する際に、このスイッチをONにしインプット入力を15dB減らすことによって入力信号が歪むのを防ぎます。

③ BRIGHTスイッチ
このスイッチをONにすると両チャンネルの高音域の信号がブーストされます。特に3kHz以上のハイエンドが強調されます。

④ CHANNELスイッチ
ノーマルチャンネルとオーヴァードライブチャンネルの切り替えを行います。
（注：フットスイッチ操作時はこのスイッチをONの状態にして下さい）

⑤ MUTEスイッチ
アンプからのアウトプット信号をミュートし、リアパネルのTUNERジャックのみから信号が出るようにします。ON時はMUTEスイッチ上部のLEDが青く点滅します。
（注：フットスイッチ操作時はこのスイッチをONの状態にして下さい）

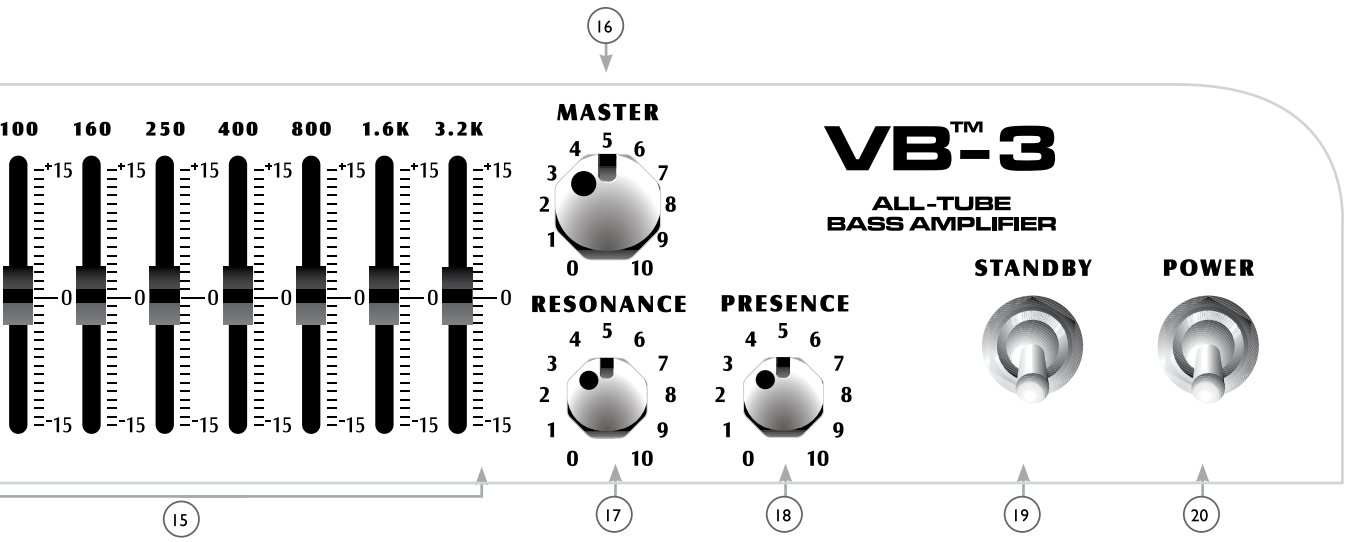
⑥ VOLUMEノブ
クリーンチャンネルが選択されている際のプリアンプのインプットレベルを調整します。
(ON時はVOLUMEノブ左上の緑色のLEDが点灯します。またクリーンチャンネル選択時はフットスイッチのチャンネルLEDはOFFになります）

⑦ OVERDRIVEゲインコントロールノブ
オーヴァードライブチャンネルが選択されている際のプリアンプのインプットレベルを調整します。
(ON時はOVERDRIVEコントロールノブ左上の赤色のLEDが点灯します。またオーヴァードライブチャンネル選択時はフットスイッチのチャンネルLEDはON（赤色）になります）

⑧ COMPRESSIONコントロールノブ/ENABLE（有効）スイッチ
搭載型・チューブ仕様の、オプティカル（光学式）コンプレッサー回路のコントロール部分です。ENABLEスイッチがON時に、COMPRESSIONコントロールが機能します（ENABLEスイッチ上部のLEDにて表示されます。またENABLEスイッチはフットスイッチでの操作時はONの状態にして下さい。フットスイッチ上ではCONPRESSION LEDが緑色になります）。このコンプレッサーは大変高感度で、最初のチューブステージでトリガー（信号検知）されますので、アクティブ・パッシブベース等様々な楽器でワイドレンジなコンプレッションが得られます。トリガーは全EQ（イコライザー）の前で行われますが、グラフィック内またはそれ以上でのクリッピングを防ぐためにロータリー型EQとグラフィックEQの間でコンプレッションがかかるようになっています。

⑨ LOWコントロールノブ
クラシックなBAXENDALL型のシェルビング(カーブが緩め）のEQが低音域のカット/ブーストを行います。

⑩ MIDコントロールノブ
チューブ・バッファのポストLOW/HIGH EQコントロールで、⑬のMID SHIFTスイッチで設定されたセンター周波数ポイントでミッドカットを行います。"フラット"ミッド設定は最大限までノブを時計回りに回します。



⑪ **HIGHコントロールノブ**
クラシックなBAXENDALL型のシェルビング(カーブが緩め)のEQが高音域のカット/ブーストを行います。

⑫ **LOWカットスイッチ**
このスイッチをONにするとパッシブのLOWカット回路が作動します。高いゲインセッティングでヘッドルームを稼ぐためにPRE-EQの超低音域にフィルターをかけます。

⑬ **MID SHIFTスイッチ**
200/450/600/800Hzのどれかを⑩のMIDコントロールのセンター周波数に設定します。

⑭ **グラフィックEQスイッチ**
"IN"ポジション(スイッチが引っ込んだ状態)にすると、グラフィックEQをシグナルパス内で機能させることができます(スイッチ右横のLEDで表示します)。また、グラフィックEQを完全にバイパスする場合はスイッチを"OUT"ポジションにします。
(注:フットスイッチ操作時はこのスイッチをONの状態にして下さい)

⑮ **グラフィックイコライザー**
VB-3はフットスイッチでON/OFF可能なソリッド・ステートの9-BANDグラフィックイコライザーを搭載しており、最適なトーンシェイプを選択することができます(また、完全にバイパスすることもできます)。センター周波数はよくある等間隔ではなく、より調和的に気持ちの良いポイントが選ばれています。それぞれのスライダーは周波数ごとに15dBのカット/ブーストが可能です。

⑯ **MASTERヴォリュームコントロールノブ**
アンプ全体のヴォリュームを調整します。

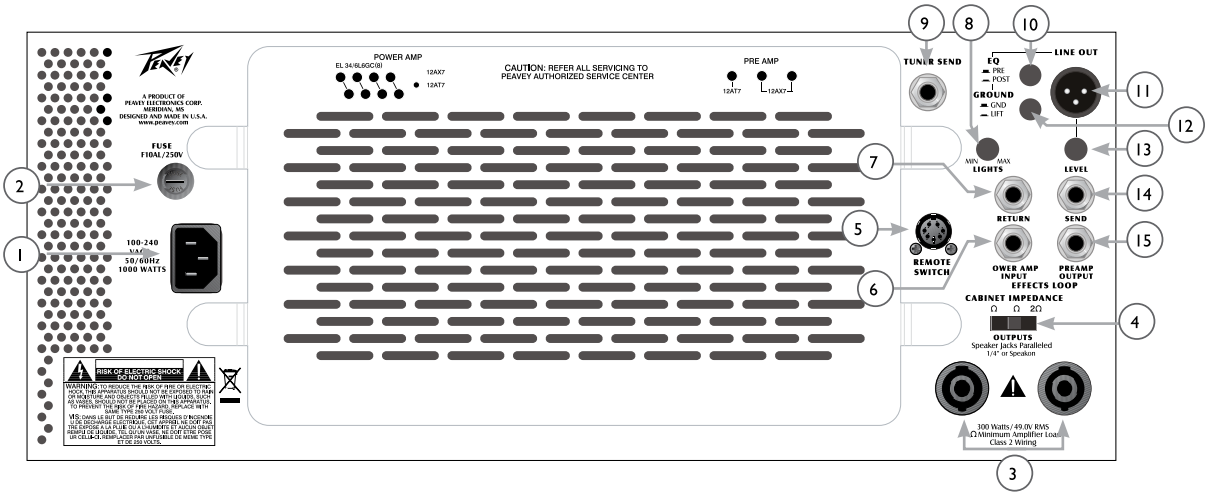
⑰ **RESONANCEコントロールノブ**
パワーアンプで低音域のダンピング(減衰)量を調整します。例えばこのコントロールノブを反時計回りに回しきるとよりタイトなサウンド、時計回りに回すとよりルーズでゆったりとしたサウンドを得ることが出来ます。

⑱ **PRESENSEコントロールノブ**
パワーアンプで高音域のダンピング(減衰)量を調整します。例えばこのコントロールノブを反時計回りに回しきるとよりメロウで滑らかなサウンドキャラクター、時計回りに回すと噛みつくような激しいサウンドを得ることが出来ます。

⑲ **STANDBYスイッチ**
高電圧の供給をON/OFFするスイッチです(スイッチを上にするとONになります)。プリアンプとDI機能はこのスイッチがOFFでも機能します。
(注:ウォームアップとして、POWER(電源)スイッチをONにして5分間以上以上経過してからSTANDBYスイッチをONにするようにして下さい(パワーチューブのより安定した動作を得ることが目的です)。

⑳ **POWERスイッチ**
アンプの電源をON/OFFします(スイッチを上にするとONになります)。
(注:このアンプのON/OFFスイッチはアンプ側とコンセント側の両方の電源を遮断するものではありません。)

バックパネル



1 電源ソケット

電源コードを接続します（VB-3はユニバーサルスイッチモードをパワーサプライに持ち、AC電源の100VAC～240VAC - 50/60Hzに対応しています）。

アンプの電源を入れる前に、必ず電源コードがソケットにしっかり入っている事を確認してください。電源電圧が正しくない場合は機器が破損する恐れがあります（本体の電源電圧を示すマーキングを参照してください）。アースピンはどのような機器でも取り外さないでください。これは安全を守るためです。使用するコンセントにアースピンが無い場合、アースアダプタを使用し、適切な形で接続してください。衝撃や火災の危険を避けるため、アンプと関連する機器がすべて正しくアースされているか常に確認してください。
（注：3芯プラグの電源コードを他のものに変えないで下さい。）

2 FUSEホルダー

アンプのメインヒューズです。フューズが飛んだ場合は、ヒューズをすぐに交換しようとせずアンプに何も接続しないようにして、アンプのSTANDBYスイッチとPOWERスイッチをOFFにします。交換するヒューズは指定のもの以外は使用しないで下さい。またヒューズ交換時は十分注意し、無理にご自分で交換しようとせず、アンプを買ったお店にご相談下さい（無理に交換しようとすると危険であり、かつアンプに重大な故障を及ぼす恐れがあります）。

3 SPEAKERアウトプットジャック

パワーアンプのアウトプットジャックです、NEUTRIK社製のスピコンコネクターまたは標準1/4"フォーンコネクターのスピーカーケーブルを接続することが出来ます（両方がパラレルになっています）。

4 **インピーダンスセレクタースイッチ**

スピーカー接続時に、ベース用スピーカーキャビネットに標準的な仕様である2/4/8Ωの中から最適なインピーダンスを選択します（切り替える際はフロントパネルのSTANDBYスイッチをOFFにしておいて下さい）。

注：お使いのスピーカーのインピーダンス値が分からない場合は、スピーカーの裏側を確認して下さい。またスピーカーを２台以上接続する場合はインピーダンス値が変わります。例えば
同時に２台の8Ωスピーカーをパラレル（並列）で接続する場合はアンプのインピーダンスセレクタースイッチを4Ωにセットします。または、同時に２台の4Ωスピーカーをパラレル（並列）で接続する場合はアンプのインピーダンスセレクタースイッチを2Ωにセットします。

5 **REMOTE SWITCHジャック**

専用フットスイッチをここに接続します（７ピンのDINインプットジャックです）。

6 **POWER AMP INPUTジャック**

パワーアンプにここからダイレクトに接続することが出来ます。

7 **エフェクトRETURNジャック**

低出力信号を外部エフェクターのアウトプットから入力したり、低出力パワーアンプの入力
としても使用出来ます。

8 **LIGHTSノブ**

フロントパネルのバックライトの照度を調節します。

9 **TUNSER SENDジャック**

バッファされた信号を直接チューナーに出力したり、バイアンプの目的でシグナルパスとして他のアンプに信号を出力します（POWERスイッチがONの時に機能します）。

10 **PRE/POST EQスイッチ**

このスイッチがPRE（出た状態）の時はEQを通る前に、スイッチがPOST(引っ込んだ状態）の時はEQを通った信号がDI出力されます。

11 **LINE OUTジャック**

バランスXLR出力をミキサーまたはレコーディングコンソールに供給します。

12 **LINE OUT GROUND LIFTスイッチ**

アンプ使用時は通常このスイッチをGROUND（出た状態）にし、グラウンドループまたはハムノイズをキャンセルする際にLIFT（引っ込んだ状態）にします。

13 **LINE OUT LEVELノブ**

LINE OUTジャックから各ミキサーやレコーディングコンソールに送る出力レベルを調節します。

14 **エフェクトSENDジャック**

低出力信号を外部エフェクターのインプットまたは外部パワーアンプのインプットに出力します。

15 **PREAMP OUTPUTジャック**

プリアンプからのダイレクト信号を直接出力する際に使用します。

トラブルシューティングのヒント：

プリチューブとパワーチューブは、時間の経過とともに劣化・消耗し出力が低下することがあります。
一般的な症状は次のとおりです。

・アンプの電源を入れたときに金属音がする。
・楽器本体のボリュームを下げたときに音にノイズが混ざる。
・出力が低下するか、音がにごる。

上記症状などの不具合・不調が確認された際は、お買い上げ店舗か
㈱キョーリツコーポレーション　カスタマーサポート support@kcmusic.jp までお問い合わせください。

Specifications

Tube Complement & Functions:
For best performance, use only tube types specified.
V1 = 12AX7/ECC83/7025
A-Input gain stage
B-2nd gain stage/Overdrive boost
V2 = 12AX7/ECC83/7025
A-Low & High make-up gain/Mid driver
B-Compressor/Graphic EQ driver
V3 = 12AT7/ECC81
A-Graphic EQ return/Effects Send driver
B-Effects return/Preamp Out driver
V4 = 12AX7/ECC83/7025
A-Power Amp input make-up gain/driver
B-Split-load phase inverter
V5 = 12AT7/ECC81
A-"Push" follower for power tube drive
B-"Pull" follower for power tube drive
V6-V13 = EL34/6CA7 (6L6GC Optional) Output tubes

Power Amp Section:
Rated Power & Load:
300W (rms) into 2, 4, or 8 Ohms (selectable impedance)

Power Amp Input Sensitivity:
3.0V (rms) / / 10dBv @ ~500k Ohms

Hum & Noise:
Greater than XXdB below rated power

Power Consumption:
1000W (rms) @ 100-240VAC; 50-60Hz

Preamp Section:
The measurements were made at the following settings, unless otherwise noted:
-Volume=5
-Overdrive=0
All front panel switches=OUT
Low/Mid/High=5
Mid Shift=450Hz
Graphic Sliders=0
Master=5
Resonance=0
Presence=0

Preamp Input Sensitivity (nominal):
3.0V(rms) / 10dBV @ 4.0Meg Ohms
0.18V(rms) / -5.0dBV @ 100k Ohms (15dB pad engaged)

Compression Ratio:
Unity to XX:XX (variable)

Rotary Low/Mid/High EQ:
Low & High shelving Baxendall circuit
Low corner frequency=XXHz
High corner frequency=XXHz
Mid (cut only) frequency centers @200, 450, 600 or 800 Hz

Graphic EQ:
Nine constant-Q filters with +/-15dB cut or boost
Centers at 40, 63, 100, 160, 250, 400, 800, 1.6k and 3.2kHz

Effects Loop Sensitivity:
Send=0.90V(rms)/-1.0dBV@~80k Ohms
Return=0.90V(rms)/-1.0dBV@~1Meg Ohms

Preamp Out Sensitivity:
3.0V(rms)/10dBV@~80kOhms

XLR Line Out (Level @ 12 o'clock):
75 Ohms, electronically balanced
Pre EQ Send=XXmV(rms)/-XXdBV
Post EQ Send=XXmV(rms)/-XXdBV

Footswitch Functions:
Channel Select, Compression, Graphic EQ, Mute

Dimensions & Weight:
11.25"H x 22.50"W x 11.25"D
37.0 lbs.

Notes

Notes

輸入販売元

株式会社　キョーリツコーポレーション

本社
〒468-0002 名古屋市天白区焼山1丁目813番地

■ 製品に関するお問い合わせ
キョーリツコーポレーション カスタマーサポート
support@kcmusic.jp

許可のない転載、再発行を禁止します。
No reproduction or republication without written permission.